

「学びの教室」

通信

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

令和8年10月2日
 特別支援教室「学びの教室」
 巡回指導拠点校・通級指導校
 文京区立駒本小学校
 校長 根来 郁明
 文京区立汐見小学校(巡回校)
 校長 山田 晴康

「自分に合った方法」を見つけよう

2学期が始まって約1か月が経ちました。学校生活のリズムを取り戻し、学習や友達との活動など、それぞれの場所で頑張っている子どもたちの姿が見られます。

学校生活の中では、「話をよく聞こう」「最後まで頑張ろう」「気持ちを切り替えよう」など、さまざまなことが求められます。でも、そのための方法は、みんな同じでなくてもよいのではないのでしょうか。

例えば、話を聞くとときに、言葉だけで説明を聞くよりも、絵や文字などを見ながら聞いた方が分かりやすい子がいます。長い時間集中するよりも、途中で少し休憩を入れることで、最後まで取り組める子もいます。気持ちが高ぶったときも、「少しその場を離れる」「深呼吸をする」「体を動かす」「誰かに話す」など、落ち着くための方法は一人一人違います。大切なのは、ただ「できるようになる」ことだけではなく、「自分はどんなときに困りやすいのかな?」「どんな方法なら、うまくできそうかな?」と、自分自身のことを少しずつ知っていくことです。

学びの教室では、苦手なことを繰り返し練習して克服することだけを目指しているわけではありません。ゲームや運動、制作、話し合いなど、さまざまな活動を通して、「こうするとできた!」「この方法だと分かりやすい」「困ったときには助けてもらえばいいんだ」と、自分に合った方法を見つけていくことを大切にしています。

もちろん、最初から自分に合った方法が分かるわけではありません。やってみなければどうまいかなかったり、先生と一緒に別の方法を考えたりすることもあります。そうした経験も、自分を知るための大切な一歩です。そして、学びの教室で見つけた方法を、普段過ごしている学級や家庭でも使えるようになることを目指しています。

得意なことは、さらに自分の力に。

苦手なことには、自分に合った方法でチャレンジを。

そして、困ったときには周りの人の力を借りることも、一つの大切な力です。

「みんなと同じようにできた」だけではなく、

「自分に合った方法でできた!」

そんな経験を一つ一つ積み重ねながら、子どもたちが自分のことを知り、自分の力を発揮できる方法を増やしていけるよう、これからも一緒に考えていきたいと思います。



<保護者の皆様へ① ペアトレについて>

特別支援教室では、ペアレントプログラム（略称：ペアプロ、ペアレントトレーニングの省略でペアトレと称することもあります）の指導者養成研修を終了した職員がおり、本プログラムを毎年実施しています。

あまり聞き慣れない単語かも知れませんが、このペアプロは、お子さんとのより良い関わり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを無くしたり減らしたりするとともに、楽しく子育てが進められるように支援する保護者向けのプログラムです。我が国では厚生労働省がその普及を推奨しています。

今年度は、低学年～中学年の保護者の方を中心に3名ほどでグループを組んで、合計7回のプログラムを実施する予定です。詳細は後日、お知らせいたします。

<保護者の皆様へ② 2学期個人面談について>

「個人面談日程希望調査票」のご提出にご協力をいただきありがとうございました。2学期の面談は主として個別指導計画の評価などに関するものとなります。なお、今年度末で特別支援教室の利用を終了する予定、もしくは、終了するか否か迷っていらっしゃるご家庭については、その旨お伝えください。

※お知らせした面談日時に都合がつかなくなった場合は、必ず、駒本小学校特別支援教室まで、お電話ください。よろしくお願いします。

直通電話3827-5575

以上